

MATSUNAGA HEADLINE NEWS



2010 Vol.9

TAKE FREE

発行元：株式会社 松永建設
 発行人：松永大祐
 〒339-0043
 埼玉県さいたま市
 岩槻区城南五丁目6番6号
 TEL：048-798-1751 (代)
 FAX：048-798-0075
 【HPアドレス】
<http://www.matsunaga.gr.jp>

ABオービット 続々完成!

Advanced Builders 鉄筋コンクリート賃貸マンション

松永建設が造り出す、安定と信頼の賃貸マンション経営

グランジオ



岩槻駅 徒歩5分 5階建マンション【住戸タイプ】2LDK：20戸

グランツ白岡



白岡駅 徒歩2分 5階建マンション【住戸タイプ】1DK：15戸

本年の新年号でその始動をお伝えした、鉄筋コンクリート賃貸マンションによる安定した土地活用「ABオービット」が続々竣工を迎えました。岩槻区、白岡町、浦和美園と、竣工した3つの賃貸マンションをご紹介しながら、「ABオービット」の特徴と実際のお客様の声をお届けいたします。

ABオービットは、賃貸マンション経営を、企画・提案から施工・運営・アフターケアまでトータルでサポートする、松永建設のプロジェクトです。

今回ご紹介する物件は、いずれも施主様の大切な土地を有効活用する目的で立案・施工されたものです。建築のプロとしての「技術屋魂」と、提案型企業を自負する当社の「アイディア」、そして松永建設の各部門を連携させた「ネットワーク」の3本柱を融合させたABオービットには、以下のようなメリットがあります。

トを最小限におさえることに成功したABオービットは、抜群のコストパフォーマンスを誇ります。もちろん「低コスト=低品質」ではなく、ABオービットの建物は、すべて頑健なRCコンクリート性。耐久性・耐震性に優れています。

■ **メーカー直接取引による**
ハイクオリティ&ローコスト化を実現!

内装や各種設備は、メーカーとの直接取引によりローコスト化を実現しました。もちろん、大手メーカーの商品ですので、安心です。

■ **メンテナンスや賃貸管理までも**
包括するトータルケア

建築後は、賃貸部門の松永都市開発株式会社がマンションの高稼働率を、松永建設の修繕・改修部門がメンテナンスを全力でサポート。将来にわたってのトータルなケアをお約束します。

北ウイング



浦和美園駅 徒歩3分 4階建マンション【住戸タイプ】1DK：4戸 / 1LDK：6戸

■ **土地特性や資産設計に**
最適なプランのご提案

建築と賃貸管理における長年のノウハウを活かし、土地特性や施主様の資産設計に合わせたプランを作成いたします。「戸数はどのくらい?」「どの程度の家賃に設定?」などをプロの視点でプランニングするので安心です。

■ **建築時の「効率」と、**
建築後の「安心」を両立

各戸の間取りや規模などを「効率」の観点から徹底研究し、建材・資材のコス

次ページでは、ABオービット【グランジオ】について、施主様のお話を伺うとともに、プロジェクトに関わった社員の声も交え、たっぷりご紹介いたします!

【賃貸マンション】ABオービット【グランジオ】竣工記念◎座談会

この感動をずっと・・・グランジオとともに。

松永建設の賃貸マンション、ABオービット【グランジオ】の竣工を記念して、施主であるT様ご夫妻、そして関わらせていただいた社員も一堂に会し、お話を伺いました。設計から着工、完成、そして未来まで——。【グランジオ】への想いが万感を込めた言葉となっています。



▲写真前列左より、松永大祐社長 T様ご夫妻 野村不二夫常務
後列左より、[企画設計グループ]唐沢 聡係長 [建築部]濱野裕介 [建築部]杉山 徹
[建築部]高橋寛臣所長 [営業部]橋本裕樹グループリーダー

分譲に引けを取らない 高級感のある賃貸マンションに

松永社長：約353坪の敷地に鉄筋コンクリート5階建という、堂々たるマンションが完成いたしました。おめでとうございます！
T様：立派な建物が完成して、大変満足しています。

野村常務：今回、岩槻駅から徒歩5分という絶好の立地を活かすために、「高級感・グレード感」をセールスポイントとしてご提案させていただきました。分譲マンションに引けを取らないクオリティと仕様を目指し、オートロックでセキュリティ面も万全。いい部屋が適正価格で借りられるならば、必ず経営はうまくいく、というのが我々の考えなのです。

T様：私たちがABオービットを建てようと思ったポイントもそこでした。ほかの大手マンション建設会社からも、さまざまな申し出をいただきましたが、妥当な建築価格と、仕上がりグレードの高さで、ABオービットは群を抜いていました。地元の企業という安心感も強く、その3つの要素から総合的に判断して、「よし、松永建設さんで行ってみよう」と決意を固めたのです。

美しい御影石が出迎える、 想いに溢れた住まい

営業・橋本：今回グランジオの仕上がりが素晴らしいものになった陰には、T様が直接中国に足を運んで選んで下さった、外装用の御影石の力も大きかったのではないのでしょうか？

T様：すみません、その節はわがままを言いまして(笑)。外壁、そしてエントランスロビーと賃貸各戸の玄関には、ぜひ質の高い石を使いたかったのですから無理を言わせていただきましたが、おかげで納得のいく建物が仕上がったと思っています。

野村常務：御影石は、石のなかで最も硬度の高い部類に入ります。高級感を謳って大理石をあしらっているビルをよく見ますが、耐候性に関しては御影石のほう

が圧倒的に高いでしょう。ちなみにT様が選ばれた御影石は、トヨタ本社ビルの外壁に使われているのと同じものです。逸品だということで、ABオービットを建てられたほかのお客様も、次々この御影石が選ばれました。T様が選ばれた6種の御影石は、ABオービットの石材のスタンダードとなりつつあります。

T様の奥様：設計のほうでも、何度も何度もわがままなリクエストに応じていただいて、本当にありがとうございました。
企画設計・唐沢：いえいえ、建物はたくさん意見交換を経てこそ、いいものになりますから。施主様のご要望は、我々にとって大変刺激にもなりますし、そのリクエストに応えることこそが、設計としての役目だと思っています。

グランジオでの経験を 今後に活かすことこそが使命

営業・橋本：手前味噌のようで恐縮ですが、若手二人も今回ずいぶん現場で頑張ってくれました。

T様：雪がかなり降ったり、この冬は厳しい天候でしたから、さぞ現場は大変だったでしょうね

建築・杉山：私は途中2ヶ月ほどグランジオの現場を担当させていただきましたが、貴重な経験をたくさん積むことができて、こちらこそ感謝の念に堪えません。この経験を今後に活かすことが私の使命だと思っています。

建築・濱野：私は、最初と最後の工程で現場に関わりましたが、こうして建物ができ上がると本当に感無量です。3年目の若輩者にいい勉強をさせて下さいまして、ありがとうございます。

松永社長：さきほど建築記録DVDを見ていたとき、うるっときていたでしょう(笑)。
建築・濱野：はい、もう恥ずかしながら、こみ上げてきてしまいました……。

T様の奥様：涙が溢れるくらい頑張ったのが何より嬉しいです。施工中のグランジオの近くを通りかかると、いつも若いお二人が一生懸命にやってくれていましたので、感謝しています。

これから大切なのは、 建物を守り、育てていくこと

高橋所長：「感動した、ありがとう」と言っていたのが、我々には一番のごほうびです。本当に涙が出るほど嬉しいことです。住みやすい、いい建物をつくるのが我々プロの仕事として当然ではありますが、グランジオに全力で向き合った結果、最高の建物を建てられたことは、やはり誇り以外の何ものでもありません。しかし建物は、人が住んでこそ命が吹き込まれるものです。今後ともお付き合いよろしくお願ひいたします。

T様：ちょうどグランジオの現場監督を下さっている最中に、高橋さんのお子さんがお生まれになったでしょう。お子さんの成長とともに、ぜひウチの大きな子(グランジオ)も見守ってやって下さい。

営業・橋本：はい、定期的なメンテナンスはもちろんのこと、入居率・入居者の質を高い水準でキープすることにも、松永建設グループの賃貸部門が全力で当たらせていただきます。

野村常務：所有する土地を、新たな資産の形で次代に残そうというお父さんの一大決心と、その意味を、お子さんが深く理解するのはずっと後になってからです。そのときに、「父はいいものを残してくれたなあ」と思っていただけのような、グラ



▲グランジオの建築経過を記録したDVDを弊社で作成し、上映。施主様とともに、感慨深く、その道のりを振り返らせていただきました

ンジオは資産価値の高い建物であらねばならないと思います。当社の踏ん張りどころは、むしろこれから。T様と足並みをそろえて「建物を守り育てていくこと」こそ、大切なのではないのでしょうか。

いい街は、いい住まいから 活性化の一翼を担うグランジオ

松永社長：どのような巨大なビルであっても、建物は、すべて人の手でつくられています。我々のモットーは「企業は人なり」。グランジオにも、我々の持てるマンパワーを最大限に注ぎ込み、社員全員で建てるような気持ちで取り組みました。

そしてもう一つ。岩槻をいい街に育て、活性化させるためには、「良質の物件」の存在が欠かせません。なぜなら、良質の物件が適正な価格で貸し出されれば、必ずそこには人が集まって来て、街には新しい需要と供給が生まれ、ひいては活性化へとつながるからです。グランジオは、岩槻駅から徒歩5分という好立地に建つグレードの高いマンション。明日の岩槻の街づくりに貢献する建物といえるのではないのでしょうか。そこにご協力できたことを、地元企業としてとても嬉しく、誇らしく思います。本当にありがとうございました。

竣工までのさまざまなエピソードを語りながらの2時間。施主のT様、松永建設社員がともに感極まって涙ぐむシーンもありました。そのあと輪のように広がっていき笑顔はとてもまぶしく、施主様と建設会社の関係を超えた強い絆を垣間見ました。

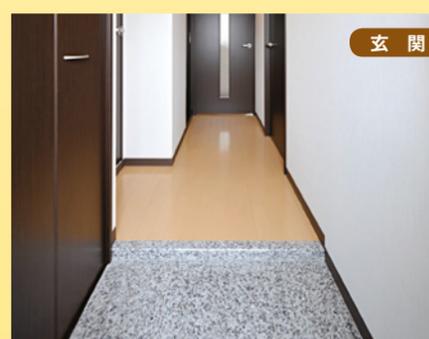
松永建設のABオービット グランジオ



▲外壁とエントランス(上)、玄関(右)には、御影石を使用し、美しい高級感を醸し出しています



▲グランジオは各戸約56㎡、2LDKのゆったりめのつくりとなっており、憩いのある暮らしを演出します。賃貸タイプには珍しい対面キッチンなのも、人気を呼んでいます。オートロック/エレベータ有/駐車場は全戸分完備



玄関



洋室

平成22年度 松永建設・大樹会安全大会を開催

誓いも新たに——「安全第一」の意識をさらに高め、労働災害の撲滅を!

▶「予兆を感知し、速やかに対応することが安全管理の第一歩」と松永社長。安全対策は「常に考え行動すること」でさらに高めることができる、と説きます



安全宣言

- 一、墜落・転落災害をなくそう!
- 一、リスクアセスメントを推進し災害をなくそう!
- 一、交通ルールを守り事故をなくそう!



◀参加者で埋め尽くされた会場は、熱気でいっぱい。大樹会会員企業、協力会社、松永建設グループ社員らが一同に集結、労働災害撲滅を誓い合いました

村田兆治氏による特別講演「人生先発完投」

- ◎1967年東京オリオンズ(現・千葉ロッテマリーンズ)にドラフト1位で入団
- ◎「マサカリ投法」による豪腕・豪速球で数多の勝利およびタイトルを獲得
- ◎故障を克服・復活し、40歳まで現役投手として活躍。通算勝ち星は215勝



◀引退後の1992年以降、ライフワークとして全国離島訪問・野球教室開催についても熱く語った村田氏。離島の子どもの夢を全力で育もうとする生き方は、大きく振りかぶって真っ向から勝負を挑んだ「マサカリ投法」、そしてケガにも負けず、22年もの間現役で一線を張り続けた不屈の魂と同じく、まさに「全力投球」を体現しています

7月1日から始まった全国安全週間を前に、松永建設・大樹会安全大会が開催されました。安全に働ける職場環境の構築・確保と労働災害の防止は、企業の健全な発展に不可欠の要素です。自覚と行動を重ね、安全向上に努めましょう。

去る6月17日、市民会館いわつき・大ホールにて「平成22年度 松永建設・大樹会安全大会」が開催されました。この安全大会は今年で28回目を迎え、会場には松永建設の社員をはじめ、協力会社で構成される大樹会会員各社など、600人以上が集結。来賓には、春日部労働基準監督署・町田映司署長、岩槻警察署・池山良之交通課長、小山労務管理事務所・小山茂樹所長の3氏をお招きして、「安全」へのさらなる意識向上をはかる会が、盛大に幕を開けました。

して大樹会の重点実施事項と安全方針が示され、いま一度全員で、安全への意識徹底と労働災害撲滅を誓い合いました。

続いての安全表彰では、無事故・無災害に努めた優良協力会社8社、優良作業所代表9名、優良職長9名の表彰が行われました。その謝辞では、「安全への取り組みは、決して自分ひとりで成し遂げられたものではない。今後も一丸となって安全管理・施工管理・品質管理に全力であたる」という環境土木部・八木 誠係長の言葉が、会場に力強く響き渡りました。また、来賓の方々から、労働災害や交通事故の現状や改善策に関する提言を頂戴し、第一部はここで終了。

まずは開会に先立ち、国歌斉唱と物故者に向けて1分間の黙祷。続いて、川村竹男大樹会副理事長[(株)カワムラ社長]より、力強い開会宣言がなされ、大会の意義が参加者に示されました。

主催者代表の松永大祐社長からは、各自が主体的に安全対策について考え、実行することの重要性が説かれました。現場では安全確保の体制が整えられ、パトロールなどにより安全管理・意識向上も日々推進されていますが、環境に守られていることに安心し、「きっと大丈夫」と思ってしまう心の油断は、決して真の安全を生み出しません。竹内光男大樹会理事長[竹内電気(株)社長]からも、安全の追求に絶対妥協しない強い姿勢が示されました。

第二部では、「マサカリ投法」で豪腕を誇った元プロ野球投手、現野球評論家の村田兆治氏の特別公演が行われました。タイトルは「人生先発完投」。途中降板の許されない人生というマウンドにおいて、責任をもって、またいつでも夢を胸に抱きながら完投しよう——村田氏の人生訓が、熱く伝わってきます。松永建設野球部に対するステージ上での熱い練習指導や、サインボールの会場席への投げ込みなど、氏の人柄と往時の迫力がしのばれる楽しいハプニングも続々と飛び出しました。変わらぬ長身瘦躯の体から投げ下ろされた白球同様、氏の「手抜きをしない、いつでも全力投球の人生」という言葉は、ズバン! という快い響きとともに、皆さんの胸にしっかりと捕球されたのではないのでしょうか——。

そして、遠藤明德大樹会理事[エンドウ・エコレイズ(株)社長]の音頭で、安全宣言の唱和。松永 豪安全衛生委員からは、安全活動計画および活動報告を通



▲「声を出していこう!」「投げる先から目を離さない!」村田氏の指導と白球が行き交い、ステージは、瞬時、野球場へと姿を変えました。また観客の手元びつたり、サインボールを投げてプレゼント!



◀無事故・無災害で安全管理に努めた計8社18人が安全表彰を受賞。努力と功績を讃え、松永社長から表彰状と記念品が贈られました

安全表彰受賞者

【優良協力会社の部】

- ◆中央サッシ建材(株) ◆松坂工業(株) ◆エンドウ・エコレイズ(株) ◆(株)小池鉄工
- ◆大里産業(株) ◆アース建設(株) ◆湯本内装(株) ◆横山工事(有)

【優良作業所の部】

- ◆芝川第9-1処理区分区下水道工事(北建21-24)=八木 誠 ◆H20山王築堤工事=松浦正弘
- ◆領家立野団地(建替)先行区土木その他工事=布村慎哉 ◆道路修繕工事(主要地方道さいたま川口線)=後藤淳宏 ◆H20山王堤防強化工事=棚瀬貴之 ◆豊春中学校屋内運動場(体育館)

- 耐震補強工事=宮坂綱二 ◆(株)VDFサンロイヤル春日部事業所冷凍立体自動倉庫増設工事=津野信行 ◆フジパン(株)武蔵工場出荷口新築工事=関口淳一 ◆平成21年度県営住宅 退去・小口・緊急修繕工事=久保田雅明

【優良職長の部】

- ◆豊川 武氏[大里産業(株)] ◆西尾昌昌氏[松坂工業(株)] ◆水野谷毅彦氏[アース建設(株)]
- ◆富西英昭氏[一三建設(株)] ◆高見精剛氏[(株)ベスト] ◆竹内文男氏[竹内電気(株)]
- ◆福島利光氏[(株)カワムラ] ◆樋口清司氏[(株)ミウラ] ◆菅 仁志氏[鎌田工業(株)]

すべては、家族の笑顔のために。

安全・安心の注文住宅 ABホーム

Advanced Builders

戸建木造住宅

確固たる構造と、シンプルな美しさに溢れたオンリーワンの家



◀白基調の中に、華やかでモダンな飾りタイルが映える美しいダイニングキッチン



◀「明るく、風通しのいい家になりました」と、笑顔の関根様



ABホームは、施主様のこだわりと夢を形にする、松永建設の「安全・安心の注文住宅」です。デザイン・設計面での趣向はもとより、耐震等級3相当の強度を誇る耐震構造建築や、エコキュート／太陽光発電システムといった地球環境と家計にやさしい住まいづくりなど、さまざまな仕様に対応しています。また、企画・設計から施工、そして完成後のメンテナンスまで、一貫して請け負うのも特徴のひとつ。「安全」と「安心」、そして「安らぎ」をご提供する住宅建築システムが、松永建設の「ABホーム」です。

この度、竣工したABホームは、さいたま市の関根様邸。シンプルモダン・スタイルの美しい邸宅です。そのシャープですっきりとした外観からは想像がつかないかもしれませんが、建物の中は、4層という複雑な構造。それは、かなり高低差のある立地に由来するもので、その条件ゆえに、通常の一軒家の5倍程度の基礎強度にて、しっかりと建てさせていただきました。

また、次々と提案されるさまざまな仕様に、ABホームの「あらゆるニーズに応える」という特徴を実感したそうです。

「こちらが伝えることができたのは、たとえば、広告の切り抜き写真を渡して『こういうイメージに』という感じでしたが、そこにある想いを適切に読み取っていただき、さまざまなプランをご提案いただいたので、その機動力と引き出しの多さに感動しました」

なかでも、ダイニングキッチンに施された飾りタイルの意表をつくセンスには、舌を巻いたと言います。白基調の部屋で、なるほど飾りタイルがいいリズムとアクセントに。また、シンプルなデザインになるほど、「素材の確かさ」と「調和

が肝心になります。その材料選択眼の的確さにうならされた、とも。

「希望を盛り込むことも、引き算をすることも、なんでも相談できる。そればかりか、いつも相談した以上の答えが返ってきたことに、とにかく全幅の信頼がおけました」

このような過程を経て完成したお宅は、予想を上回る出来映えとなり、心からご満足いただいているそうです。「毎日、家に帰るたび、『いい家だなあ』と見上げてしまうんですよ」と笑う関根様の表情は、本当にまぶしく、輝いていました。

熱い心が伝わった感動の瞬間

東洋大学・川越キャンパスにて

去る5月19日、松永大祐社長が東洋大学・川越キャンパスにおいて、同大学の学生に向けた講義を行いました。

松永建設の経営理念の紹介にはじまり、今という時代に企業としてとるべき戦略、社会人として必要となる心得などを語るとともに、「いつでも夢を忘れず、自ら立つことのできる人間になってほしい」という、熱いメッセージを発信。目標、将来へのビジョンを見据え、自分の人生を自分で切り開いてい

くことの大切さを、これからの社会を支えていく学生に向けて真摯に、声を大にして呼びかけました。

講義タイトル「熱き志のもとに」そのままの、額に汗しながらの熱弁と、その熱意は学生の胸を打たずにはおれなかったようで、講義後、社長に感謝の意をひと言伝えてから立ち去る学生の姿が……。たくさんの「ありがとうございました」と、志あふれる学生たちの熱のこもった感想文。次の世代の確かな輝きが、そこにはありました。



速報!

国土交通省 関東地方整備局より 平成21年度 優良工事表彰を受賞!



去る7月14日、国土交通省 関東地方整備局より、弊社の「H20山王築堤工事」(優秀工事技術者:土木部・田中吉朗主任)が、平成21年度の優良工事表彰を受賞しました! 江戸川河川の氾濫を防ぐために堤防を作るこの工事は、周辺住民、下流域の水害を食い止めるための非常に重要な工事です。現

場代理人の田中吉朗主任は、重大な責任を果たすべく、技術力・安全性はもちろん、創意工夫を凝らした工事現場を運営したことが認められたのではないかと、振り返ります。昨年に続いたこの受賞は、とても名誉なことであり、これからの大きな自信にもつながります。詳しくは次号でお伝えいたします。

「Mt.富士ヒルクライム」完走!

もっと登れる! まだ行ける! 沸き立つ闘志で、登り坂の向こうへ!

社長の男気コラム



ゴールした瞬間の松永社長

前号の当コラムで参加決意を表明した、富士山を登る自転車イベント「Mt.富士ヒルクライム」。来るべき日に備え、せつせとトレーニングに精を出していたのですが、あろうことか開催日直前に風邪をひき、体調不良に……。

お会いする方ごとに「読んでますよ、男気コラム!」と声をかけていただき、社員からも励まされ、皆様の声援になんとか背中を押してもらって格好で富士山に向かいました。少しでもコンディションが回復するようにと、祈るような気持ちで開催前夜に1時間半もマッサージを受け、熱い風呂にゆっくり浸かり、そして迎えたイベント当日。でも、まったくもって回復の兆しなし(苦笑)。鼻づまりが辛く、そもそも登り坂は呼吸に合わせてペダルを回していくものなのに、それがなかなかうまくできないのです。しかし、走らなかった、棄権したという報告だけはしたくない! その意地だけ

でスタートから登り続けました。

その気力が勝ったことが身体を鼓舞したのか、体調も徐々に右肩上がりに。今回のイベントに備えて装着した登坂用の最軽量ギアをほとんど使わずに登りきることができました。そして無事ゴールを迎え、その頃には不思議なくらいに体調は回復し、気分もじつに晴れやかでした。

初めて登った日本一の山。そこには、緩い坂、キツイ坂、さまざまな坂がありました。「登り坂」というのは不思議なものです。登ってみれば、辛い、苦しい、だけではなく、「もっともっと登れる」「まだまだ行ける」という気持ちが、



沸々と湧き上がってくるのです。どんな登り坂であっても、登りきればその向こうには、必ず素敵な景色が広がっている。大きな達成感とともに富士山五合目からの景色を眺め、ふと、そんなことを思いました。応援をいただいた皆様、ありがとうございました!